

カーボンニュートラル時代の 木質バイオマスの利活用と課題・将来展望

セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260586>

1名分料金で
2人目無料

- ◆日時: 2026年05月25日(月) 10:30~16:30
- ◆【アーカイブ配信受講: 5/26(火)~6/2(火)】の視聴を希望される方は、
⇒こちら <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260586A> からお申し込み下さい。
- ◆受講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で55,000円(税込)から

・1名で申込の場合、**49,500円(税込)**へ割引になります。

・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計55,000円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 名古屋大学 大学院生命農学研究科 教授 農学博士 福島 和彦 氏

【習得できる知識】

木質バイオマスの主要構成成分であるリグニンの分布、生合成、化学構造、分析法、分解法などの基礎知識を解説します。木質バイオリファイナリー事業を企画・実施する上で、参考になると思います。

【講演の趣旨】

2050年カーボンニュートラルを目指す中、エネルギー・マテリアルの原料を化石資源からバイオマスへシフトさせていくことが求められています。再生可能で豊富な資源量から木質バイオマスへの関心が高まっています。木質バイオマスの利用で最も重要なことは国土の3分の2を占める森林の「伐って、使って、植えて、育てる」サイクルを実践することです。日本の森林の約4割は人工林で、現在、木材として利用可能な時期を迎えていますが、利用が十分に進んでいないのが現状です。木材を適切に利用し、伐採後に植林・育林を行うことで、森林の健全な状態を保ち、水源涵養や土砂災害防止、CO₂吸収、獣害対策といった多岐にわたる機能を発揮させることができます。木材利用の中心は建材利用です。建材利用が進めば進むほど、端材やおが粉などの副生成物が発生します。これを化学利用すれば、木材利用のバリエーションが豊富になります。木質を液体燃料や化成品に変換することを木質バイオリファイナリーという言葉で置き換えられ木材の高付加価値化につながる技術として期待されています。ここでは、木質バイオマスの基礎から将来展望について紹介します。

【プログラム】

1. バイオマスとは

- 1-1 パリ協定・SDGs・カーボンニュートラル
- 1-2 バイオマスの定義と種類
- 1-3 森林資源の腑存量
- 1-4 林業の現状
- 1-5 脱炭素社会に向けたバイオマス利用の意義

2. 木質バイオマスの特徴

- 2-1 樹木の進化・種類
- 2-2 樹木を構成する組織
- 2-3 木材の主要3成分(セルロース、ヘミセルロース、リグニン)の合成と化学構造
- 2-4 抽出成分

3. 木質バイオマス変換技術(バイオリファイナリー)

- 3-1 バイオエタノール
- 3-2 改質リグニン
- 3-3 リグニン由来バイオプラスチック
- 3-4 セルロースナノファイバー

4. 持続可能な社会に向けて

- 4-1 カスケード利用
- 4-2 今後の展望

『木質バイオマス』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒<□LIVE/□アーカイブ>

会社・大学		
住所	〒	
電話番号		FAX

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的に受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧下さい。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧下さい。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>